

大阪シティ信用金庫の環境への取り組みについて

大阪シティ信用金庫は、環境問題への取り組みを企業の社会的責任と位置づけるとともに、重要な事業活動と認識し、下記のとおり環境保全に資する活動を推進しています。

【環境負荷低減への取り組み】

- 地球温暖化防止のため、CO₂削減等に向けて取り組んでいます。常日頃、冷暖房空調機器・OA機器・照明器具等において、無駄な電力使用を排除（省エネタイプのATM導入やLEDなど省エネ機器への順次切り替え、照明器具の削減、稼働時間の短縮等）するとともに、夏季に「クールビズ」、冬季に「ウォームビズ」を実施し、省エネに努めています。



環境にやさしい省エネタイプのATMを導入

- 環境省の「21世紀金融行動原則」に署名しているほか、大阪市が提唱する循環型社会の構築に呼応して、以下のとおり環境負荷を低減に努めています。
 - ・ごみの削減および不要紙類の再生可能な世回処理を促進。
 - ・電気・ガス・水道・ガソリン・コピー用紙等の使用量削減。
 - ・コピー用紙等の再生紙利用促進。
 - ・データ保存を、紙ベースから電子ベースへ移行。 など
- 堺市がめざす低炭素都市「クールシティ堺」の実現をバックアップするため、堺市内に拠点を有する地域金融機関が中心となり設立された「SAKAIエコ・ファイナンスサポーターズ倶楽部」に参画しています。

【環境保護に配慮した金融商品の取り扱い】

(1) エコリフォームローン

省エネ改修やバリアフリー改修、オール電化、耐震・免震工事など環境耐震性（エコ）に配慮したリフォーム工事を行う場合に、ご融資金利率を0.402%（シーオーツー）マイナスする「エコリフォームローン」を取り扱っています。

(2) カーライフプラン・エコ

特に環境性能に優れた自動車を購入される場合に、通常のカーローンより低廉な保証料率でご利用いただけるおトクな「カーライフプラン・エコ」を取り扱っています。

(3) エコ・ファンド（投資信託）

環境問題に積極的に取り組む日本国内の株式に分散投資し、長期安定的な信託財産の成長をめざすエコ・ファンド「損保ジャパン・グリーン・オープン／愛称：ぶなの森」を取り扱っています。

(4) シティ信金“みどりの風の道”定期積金

定期積金総契約額の0.05%相当額を当金庫が拠出し、大阪府が「みどりの風を感じる大都市・大阪」をめざして実施している緑化支援事業に寄付しました（平成30年度も同積金を販売しており、寄付の予定です）。

【環境負荷の少ないエコ製品を粗品に採用】

環境にやさしい洗剤、漂白剤を使用しないタオル、再生紙を使ったメモ帳やポケットティッシュ等を粗品に採用しています。

【地域清掃活動の実施】

当金庫全営業店および本部による近隣地域の清掃活動を毎月継続して実施しています。

さらに、信用金庫の日（6月15日）には大阪府内信用金庫統一活動として、当日の早朝、全営業店一斉による店周等の清掃活動を行いました。

また、創立記念日を控えた11月9日、地域金融機関として一層の社会的使命を果たすため、店舗周辺の清掃活動に加えて、公共施設の清掃等を全店一斉に実施しました。



本店近くの中之島公園を清掃する職員